

取組事例 若い世代が安心して子育てできる環境づくり 「足寄高校活性化による地方創生」

(足寄町)

足寄町では、足寄高校への各種支援策を実施しており、入学者数を維持することができている。その結果、足寄高校を卒業して足寄町内に就職する若い人材も確保できている。

関連数値目標・KPI

| KPI | 第1期の目標値 (R元) | 実績 (R2) | 目標値 (R2) | 進捗率 (%) |
|--------------------|--------------|-----------|----------|---------|
| 町内中学生の足寄高校進学率 | 59.7% | 72.9% | 70% | 104.1% |
| 就業者数 (うち、足寄高校卒業者数) | 20人 | 26人 (12人) | 20人 | 130.0% |

第2期足寄町まち・ひと・しごと創生総合戦略【2020年人口】

目標値 6,500人 (社人研推計値 6,354人) ⇒ 令和2年 国勢調査速報値 6,562人 **※目標値+62人**

取組事例

公設民営学習塾の運営等

- 足寄高校に通う生徒であれば無料で通うことができる個別指導型の学習塾を設置・運営。
- 地元の高校に進学しても、大学を目指して勉強することができる。夏期・冬期講習や各種検定、模擬試験費用も助成。



将来の介護人材の育成

- 足寄高校在学期間中、希望者は介護職員初任者研修を無料で受講し、資格を取得できる。



元プロ野球選手による野球指導

- 日本ハムファイターズとのパートナー協定に基づき派遣された人材が足寄高校野球部を指導。
- 足寄高校で野球をするために進学を決めたという生徒も増えている。



若い世代が希望に応じて、結婚、出産、子育て、働き方が出来る環境づくり

足寄高校が存続することによる保護者の経済的負担軽減は極めて大きいと考えている。

足寄町は「誰もが安心して子育てのできる環境づくり」を町の重要な施策として、小学校から高校までの給食費の無償化、保育所・学童保育所保育料の無償化、中学修了までの医療費無償化などにも取り組んでいる。

子育て支援施策は、移住・定住を促す戦略の柱としても機能している。